

# 協会けんぽ徳島だより

2023  
9月

## 協会けんぽ 2022（令和4）年度決算（見込み）のお知らせ

### 2022年度の決算（見込み）のポイント

2022年度の決算は収入が11兆3,093億円、支出が10兆8,774億円で、収支差は4,319億円となりました。

ポイントとして、収支差は前年度比で増加(+1,328億円)しましたが、この要因は、保険料収入の増加(+1,868億円)より保険給付費の増加(+2,502億円)が上回ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う2020年度の高齢者の医療費の一時的な減少により、後期高齢者支援金に多額の精算(戻り分1,901億円)が生じたこと等によって支出の伸びが抑えられたことによるもので、一時的な特殊事情によるものです。

※詳しくは、協会けんぽホームページをご覧ください。

### 2022年度決算（見込み） | 医療分

収入	11兆3,093億円	(+1,813億円)
支出	10兆8,774億円	(+ 486億円)
収支差	4,319億円	(+1,328億円)
準備金	4兆7,414億円	(+4,319億円)

※( )内は、対前年度比。

### 高齢者医療への拠出金等 33.0%

高齢者の皆さまの医療費の一部を現役世代が負担しています。その額は、支出の約1/3を占め、重い負担になっています。今後、団塊の世代が75歳以上となることによって、高齢者医療への拠出金の増加が見込まれています。

### 保険給付費 63.9%

協会けんぽが医療機関に支払う費用や、傷病手当金等の支払いに要する費用

### 保険料収入 88.8%

被保険者・事業主の皆さまに納めていただいている保険料

支出 約10.9兆円  
収入 約11.3兆円

その他の支出 1.0%

国からの補助金 11.0%

その他の収入 0.2%

健診・保健指導経費 1.2%

協会事務費 0.9%

### Q. 2022年度の決算は黒字額が増加しましたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

#### A. 協会けんぽの財政は、以下の理由から楽観を許さない状況です。

- ・収入面では、賃上げによる賃金の上昇が当面は見込まれるものの、被保険者数の伸びが鈍化していることや、不安定な海外情勢や物価高の影響等で経済の先行きが不透明であること等によって、これまでのような保険料収入の増加が今後も続くとは期待し難いこと。
- ・支出面では、医療給付費がコロナ禍前の水準を上回って推移した2021年度(対前年度比+8.6%)をさらに上回り、2022年度は対前年度比+4.4%と高い伸びで推移していることや、今後も、後期高齢者支援金の増加が見込まれること。

こうした状況を踏まえ、協会は、将来を見据えて、加入者の健康増進の取り組みを中心とした医療費の適正化をさらに推進するとともに、安定した財政運営に努めてまいります。

### 2022(令和4)年度 徳島支部の事業報告

- ・バス広告や大型ビジョンにジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報を掲載し、ジェネリック医薬品使用率向上に貢献いたしました。
- ・事業所が独自に行っている「健康づくりのための取り組み」を取材し、冊子としてまとめた「健康づくり好事例集」を作成しました。また、事例集を徳島支部管轄の事業所へ配布し、事業所内で行える健康づくりを広く周知しました。その結果、年間で100社以上の事業所に徳島支部主催の健康づくり事業へ参加いただくことができました。



# 被扶養者資格の再確認にご協力をお願いします

健康保険の被扶養者を対象に、被扶養者資格を満たしているかの再確認を毎年度実施しております。被扶養者資格の再確認は、被扶養者の方の現況確認だけではなく、加入者のみなさまの保険料負担の軽減につながる大切な確認となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 確認の対象となる方

令和5年4月1日において18歳以上の被扶養者  
※令和5年4月1日以降に認定された方は対象外



すべての方が「変更なし」の場合でも

**必ず被扶養者状況リストのご提出が必要になります。**

※詳しくは、令和5年10月下旬から11月上旬にお送りするリーフレットをご覧ください。

### <解除となる被扶養者がいる>

被扶養者  
状況リスト



健康保険  
被保険者証



被扶養者調書  
兼異動届 等

### <解除となる被扶養者がいない>

被扶養者  
状況リスト



必要に応じた  
各種確認書類



提出期限は、令和5年12月8日（金）です。

令和5年9月末日をもって、旧様式申請書の取り扱いを終了いたします。  
各種申請書(届出書)は、新しい様式をご使用ください。



新様式は、当協会ホームページから印刷願います。  
ご不明な点がございましたら、当支部（088-602-0256）までお問い合わせください。

## ジェネリック医薬品を使用すると、どれくらい安くなるの？

## 第6回 糖尿病

血液に含まれる糖分(ブドウ糖)のことを血糖といい、血糖の量(血糖値)は、インスリンというホルモンの働きによって調節されています。何らかの原因でインスリンの分泌が低下したり、分泌されたインスリンがうまく働かなかったりすると、食べものからとったブドウ糖がうまく処理されなくなり、血液中にたまって血糖値が高い状態が続きます。この状態が「糖尿病」です。糖尿病のお薬にも、ジェネリック医薬品があります。

価格差例  
1日1回、  
1回1錠の場合

先発医薬品 薬価	ジェネリック医薬品 薬価	差額(1日あたり)	差額(1年あたり)
71円(1日)	20円~29円(1日)	<b>51円~42円</b>	<b>18,615円~15,330円</b>

※表中の価格は薬価の全額(10割負担)で計算していますので、窓口で支払う負担額はこちらの通りではありません。

※用量、薬価は一例です。同じ有効成分のジェネリック医薬品でも、メーカーによって価格は異なります。

※自己負担分は四捨五入され10円単位での支払いになります。

※上記は薬価のみを計算したものであり、実際に支払う医療費には、調剤基本料や薬剤管理指導料、薬剤情報提供料などが含まれます。



全国健康保険協会 徳島支部  
協会けんぽ

〒770-8541 徳島市八百屋町2丁目11 ニッセイ徳島ビル7F  
☎088-602-0250(代表)

協会けんぽ 徳島

